

平成28年度 上郷小学校 校内研修 全体構想図

〈子どもの実態〉

- ・明るく素直であり、外遊びをよくする。
- ・言葉遣いがよくないために、友達に嫌な思いをさせることがある。
- ・与えられた課題には取り組むが、積極性にはやや欠ける。

- ・挨拶を元気よくする反面、あまり出来ない子どももいる。
- ・望ましい生活習慣や家庭学習の習慣がついていない。
- ・自分の考えをまとめ、それを他者に伝えるコミュニケーション能力にやや欠ける。



【学校教育目標】

～夢や希望をもち、未来に向かってはばたく やさしく・かしこく・たくましい「なぎっ子」の育成～

【めざす子ども像(なぎっ子)】

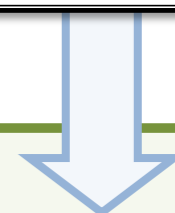
・だれにでも思いやりがもてる やさしい子

・自分で考え、行動できる かしこい子

・夢や目標に向かってがんばる 強い子

【研究主題】

「できた!」「わかった!」「やってみよう!」
意欲的に学ぶ子どもの育成



参加 (安心・安全) ・理解

- AFPY やフリートークなどによる人間関係づくり
- 学習環境の整理整頓
場の構造化
刺激量の調整
ルールの明確化
上郷小学習規律の共通理解と徹底
- 授業の「しかけ」による、子どもの学習意欲や理解の促進
選択肢をつくる、隠す、間違える、情報過多にする
情報不足にする、分類する、位置や配置、順序を変える
図や絵に置き換える、仮定する
- 抽出児の決定と観察・評価
- 振り返りアンケートの実施
- 重点取り組み単元の設定 国語「書く」 算数「割合」

習得

- ・読書量の確保
(1～2年：年間50冊以上、3～6年：4000ページ以上)
- ・計算ドリルを3回繰り返すことによる基本的な計算への習熟
- ・朝学の時間を活用した「なぎっこ強化月間」
- ・定期的な復習プリントの実施
- ・振り返り(自己評価能力・課題設定能力)の質の向上
- ・学力定着状況確認問題などによる子どもの成長の評価

【日常教育実践・個人研究・子ども理解】